



長島町議会議長 濱上 實則

自立し、明るい未来に向けて

新年あけましておめでとうございます。新春を迎え、皆さまには心からお慶びを申し上げますとともに、日ごろから町議会に對しまして温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

世界経済は金融危機に陥り、依然として混とんとしており、先行き不透明感が払しょくできない情勢であります。国におきましては、景気回復のための緊急対策などの諸施策が講じられています。一刻も早い回復が望まれるところであります。

わが長島町は、この3月に満5歳になります。合併当初にくらべると随分一体感が芽生えてきたのではないのでしょうか。しかしながら、若年層の流出から高齢化と過疎化が続き、町勢の発展を図るうえで大きな障害となっております。少子高齢化・

高度情報化の時代を迎え、多様化した住民ニーズに対応した自主的・合理的な行政運営とともに、その地域の特性を生かした魅力ある、活力にあふれたまちづくりが強く求められています。地方分権、三位一体改革の中で地方の時代を迎え、地域自らが自立する気持ちでいないと時代の流れから取り残される恐れがあります。今こそ、地方自治の原点に返り、『自分たちでできることは自分たちで』、今のうちに身近なところから分権社会をつくっていただくよう願うところであります。

町議会としましては、時代を見据えた情勢分析に力点をおきながら、公平で民主的な行政運営が行われているかを日々検証し、行政と互いの知恵を出し合い、長島町が自立し、明るい未来に向けて確実な歩みを進める

よう、住民と行政の橋渡し役として力を尽くす所存であります。

この一年が皆さまにとりまして、実りある飛躍の年となりませう心から祈念いたしますとともに、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。



獅子島七郎山から長島本島を望む